

学校に行きづらい児童の居場所及びそれに係る登校等の対応について

お子様が学校に行きづらい時、学校やその他の機関などの居場所と出席として取り扱うことができるかについて一覽にしました。ご参考にしていただければ幸いです。

○：出席扱い △：内容によって出席になる場合もある ×：出席にはならない

【学校内・教育委員会の支援】

種類	内容	特徴	出席扱い
スクールカウンセラー(SC)	学校の相談室で児童・保護者の相談を受付	年間を通して相談可能 学校との調整も◎	○
スクールソーシャルワーカー(SSW)	学校や家庭で相談を受付	関係機関との連携や同行も可能	△
教育支援コーディネーター	教育委員会の総合窓口相談役	迷ったときの最初の相談先に	×
適応指導教室「太陽の子」	教育委員会設置の支援施設	学校復帰を目指す公的支援 安心感ある学校外の施設	○
訪問型支援「みらい」	自宅や公共施設への訪問支援	元教員＋心理職がペアで訪問	○
ステップルーム	学校内での児童の居場所	登校する時間を自分で調整	○

【オンライン・バーチャル学習】

種類	内容	特徴	出席扱い
オンライン授業	学校の授業を家庭で受ける	時間割に沿って参加	○
オンラインスクール	インターネットを使った学習	時間・場所に縛られない	△
バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)	メタバース空間での学習	アバターで教室や相談スペースに参加	○

【民間・地域の学びの場】

種類	内容	特徴	出席扱い
フリースクール	民間の教育施設	自由な雰囲気でも個別対応も◎	△
民間の学習塾・個別指導	学校外の学習支援	学力維持や受験対策に	×
ホームスクーリング	家庭での学習	保護者の関与が大きい	×

【交流・相談・居場所づくり】

種類	内容	特徴	出席扱い
メンタルフレンド	大学生が学習や遊びをサポート	学校や家庭で実施	△
教育相談所	心理職による相談	調布市教育会館で実施	×
地域の居場所(子ども食堂・プレーパークなど)	地域住民や NPO が運営	安心して過ごせる交流の場	×
テラコヤ・スイッチ	大学生スタッフによる遊びと学習	毎週木曜、教育会館で実施	×